

平成22年度「新潟市子ども読書活動推進計画」に基づく各課の取組結果

◇子どもの読書活動を推進するための方策

1 家庭

①保護者への働きかけ

※結果欄の標記	
○	実施済み
△	一部実施
	一部次年度繰越

課・機関名	内 容	結 果	
保育課	○保育課, 区健康福祉課, 保育園等で絵本についての研修会を企画する。	内容のとおり実施した。(保育課1回, 区健康福祉課7回, 保育園5園で各1回実施)	○
	○保育園から保護者に対して, 読み聞かせによって絵本の楽しさ, 豊かさを伝えたり, 園行事や園の便り等の機会を捉えて啓発する。	内容のとおり実施した。公立保育園80園程度(全92園中)で実施。	○
こども未来課	○市民協働で運営しているホームページ・携帯サイト「にいがたっ子ひろば」で子ども読書活動の推進について適宜情報を掲載する。	内容のとおり実施した。	○
保健所健康衛生課	○乳幼児健診や相談事業の待ち時間を利用して, ボランティアによる読み聞かせを実施するなど, 子どもの読書についての普及啓発を行う。	各区の保健福祉センターで実施を計画しているため, 実施せず。	×
各区健康福祉課	○股関節検診と1歳6か月検診・3歳児検診時に図書館ブックリスト「はじめての絵本」を配布し, 読み聞かせの啓発普及を行なう。(年間506回)	内容のとおり実施した。	○
	○地域保健福祉センターでは自主事業による「親と子のフリースペース」に年3回, 「スマイルキッズ」に年2回, ボランティアグループ「絵本の会がらがらどん」による絵本の読み聞かせなどを実施し, 保護者に読み聞かせの大切さを体感してもらう。	内容のとおり実施した。	○
	○児童センター, 子育て応援ひろば等で読み聞かせを実施する際, 同僚の保護者にも読み聞かせの大切さを伝える。(各施設月1,2回実施)	内容のとおり実施した。	○
生涯学習課	○ホームページ(体験学習情報ナビ)を活用し, 子ども読書活動に係る様々な体験情報を充実させ, 市民に提供する。また, 見やすく, 親しみやすいホームページへの改善を図る。	ホームページを活用し, 図書館事業の紹介など, 子どもの読書活動を推進するための情報を市民に提供した。	○
公民館	○乳幼児期の家庭教育学級の講座の中で, 「絵本」に関する時間を設ける。	内容のとおり実施した。(鳥屋野・関屋・亀田・曾野木・西・小針青山・巻)	○

②ブックスタート事業の実施

課・機関名	内 容	結 果	
保健所健康衛生課	○ブックスタート事業開始への協力体制について, 関係課とともに具体的な検討を行う。	内容のとおり実施した。	○
図書館	○市民と関係課職員からなる「ブックスタート推進委員会」及びワーキンググループを設置し, 基本方針を策定し, その後各区の実施計画を作成する。	推進委員会3回 ワーキンググループ3回 各区実行委員会(3回×6区 2回×2区)を開催した。(中央・豊栄・白根・新津・西川)	○
	○ブックスタートボランティアを養成する。	ボランティア養成講座を実施した。受講者242名, ボランティア登録者250名(中央・豊栄・白根・新津・西川)	○

③図書館の充実

課・機関名	内 容	結 果	
図書館	○市立図書館全館で絵本, 児童書, ティーンズ向け図書など, 質のよい図書を常時提供できるようにする。	内容のとおり実施した。(全館)	○

2 保育園・幼稚園

①保育園・幼稚園への啓発

課・機関名	内容	結果	
保育課	○保育園におけるボランティアのリストを作成し提供する。	内容のとおり実施した。ボランティア43名のリストを作成し、全保育園に配布。	○
	○園行事や園だより等(年間を通して・・・シリーズなど)をとおして、啓発や情報提供を促す。	内容のとおり実施した。公立保育園(全92園)で、各園毎に3回程度実施。	○
	○図書館の団体貸出の活用や年齢に応じた絵本のリストなどについて、情報の提供を行う。	内容のとおり実施した。全保育園において、資料の配布などで情報提供を行った。	○
こども未来課	○図書館が発行する絵本のブックリスト、子どもと読書に関する啓発リーフレット等や、保護者向け講演会の講師派遣など、図書館が行っている支援について、新潟市私立幼稚園協会へ情報提供を行う。	内容のとおり実施した。	○
学校支援課	○園訪問や園長会等を通して、保護者への啓発と幼児期に読ませたい絵本の充実に関する現状を把握し、課題に応じて指導・助言する。	内容のとおり実施した。	○
図書館	○園文庫の選書資料として、推薦する絵本のブックリストを配布する。	図書館作成のブックリスト「はじめての絵本0～2・2～3」「たのしい絵本その1その2」の4種類を配布した。(中央)	○
	○園で開催する絵本の講座への講師派遣や、読み聞かせボランティアの紹介等の支援を行う。	講師派遣は全館で104回実施した。	○

②地域読書推進事業

課・機関名	内容	結果	
保育課	○すべての子どもたちに対し、乳幼児期から本に慣れ親しむ機会を提供するため、市内の全保育園・幼稚園・地域子育て支援センターに絵本を配付する。また、施設での活用はもとより、地域の保護者に広く貸出を行うため、絵本の貸出・検索システムを構築する。	各園等に絵本を配布し、来年度にシステムの稼働を予定している。(参加施設数:保育園179園(全210園中)、幼稚園36園(全55園中)、地域子育て支援センター34施設(全38施設中))	○

③職員研修

課・機関名	内容	結果	
保育課	○「絵本」に関する研修会を開催する。 (保育関係施設職員:公立・私立・認可外保育園、公・私立幼稚園)	内容のとおり実施した。(保育課1回、区健康福祉課7回、保育園5園で各1回実施)	○
こども未来課	○図書館が行っている研修企画への支援や講師派遣等の支援についての情報を、新潟市私立幼稚園協会へ提供し、幼稚園での職員研修実施を働きかける。	内容のとおり実施した。	○
学校支援課 ・ 総合教育センター	○市立幼稚園における講座や研修の企画や講師選定・派遣等についての支援を行う。	内容のとおり支援した。	○
図書館	○園で絵本に関する研修を行う際、講師派遣等の支援を行う。	講師派遣は全館で4回実施した。	○

3 学校

①教職員研修

課・機関名	内 容	結 果	
教職員課	○校園長全体研修会(7月12日)において、「新潟市子ども読書活動推進計画」について説明し、取組の意義と重要性について、市立小中学校長と市立幼稚園長に周知する。	内容のとおり周知した。	○
総合教育センター	○新学習指導要領の趣旨を踏まえ「目的に応じて本や情報を選ぶこと」と「本や資料を活用して思考力を高める授業改善」について、講義及び演習を取り入れた研修を実施する。	内容のとおり実施した。	○
教育総務課	○8月9日に学校図書館司書全体研修会を開催。学校司書のほか、学校図書館支援センター、公共図書館の司書も対象とする。	内容のとおり実施した。	○
学校支援課	○適切な講師の選定・調整にあたりとともに、司書教諭・図書館主任等との連携づくりについて話題とする。	内容のとおり実施した。	○
学校支援課	○校内研修では、「ブックトーク」や「アニメーション」の実技講習及び国語科において読書力を高める指導を実施する。	1学期に2校で実施した授業研修において読書力を高める指導を実施した。	○
総合教育センター	○市小研(新潟市小学校教育研究協議会)・中教研(新潟市中学校教育研究協議会)の図書館部の研修を支援する。	内容のとおり支援した。	○
総合教育センター 図書館	○総合教育センターと西川図書館(西蒲区学校図書館支援センター)の共催による、司書教諭・図書館主任と学校司書との合同の「学校図書館活用研修」を試行開催し、今後の研修のあり方を検討する。	7月27日に実施した。参加者42人(小中教諭15人、学校司書20人、市立図書館職員7人、教育委員会事務局3人)(西川)	○

②読書環境の整備

課・機関名	内 容	結 果	
教育総務課	○学校図書館のコンピュータ化について、関係課で検討会議を開催する。	平成22年度中に102校を対象に導入し、3月に操作研修を実施した。	○
学務課	○H21年度末時点での学校図書館の蔵書冊数調査を行い、学校図書館図書標準に達しない(整備率の低い)学校に対して、達成を働きかける。	内容のとおり実施した。加えて、達成済みの学校にも充実事業を実施した。	○
施設課	○校舎改築時に必要な広さの学校図書館と併せ司書コーナーの整備を進める。 (供用開始:赤塚小,両川小,新関小,亀田中/建設中:荻川小,臼井中)	内容のとおり三つの学校で供用を開始した。建設中の荻川小は4月から開始する。	○
総合教育センター	○「新潟市生活・学習意識調査」(全小学校5・6年,中学生すべてを対象に実施)において、「1か月の読書冊数」を調査している。その結果を踏まえ簡単な追跡調査等を行い、「センターだより」(総合教育センター発行)や1月発行予定の冊子で「読書力」を高める提言及び「読書力」を高めている実践例の紹介を行う。	内容のとおり行った。	○
学校支援課	○教育課程編成資料作成の際等に、各校の全体計画や単元指導計画に学校図書館の活用を位置づけるよう指導する。	内容のとおり指導した。	○
	○学校訪問、校長会、教頭会、各種研修会等を通して、保護者への啓発の重要性を指導する。	内容のとおり指導した。	○
	○市立高校において、学校訪問、校長会、教頭会、各種研修会等を通して、高校生の読書力増進に向けた取組や図書館の環境整備について指導する。	内容のとおり指導した。(ただし、教頭会は、ない。)	○
	○総合教育センターが行う読書量調査の結果を、家庭学習習慣と絡めてリーフレットにして配付する。	内容のとおり配付した。	○
図書館	○学校貸出図書搬送事業を開始し、学校の教育活動に必要な市立図書館の蔵書資料の活用を進める。	計画のとおり、平成22年5月6日より実施した。(全館)	○

③学校図書館支援センターの整備

課・機関名	内 容	結 果	
教育総務課	○学校図書館支援センターは、西川図書館・豊栄図書館・白根図書館の試行結果を取りまとめ今後の方向性を出す。	平成23年2月10日の運営検討委員会で審議した。	○
	○学校図書館支援センター運営検討委員会を開催する。	学校図書館支援センター運営検討委員会を平成23年2月10日に開催した。	○
図書館	○新たに設置された白根図書館における学校図書館支援センターを軌道に乗せるとともに、3つの支援センターの取り組みの情報交換を行い、全区への拡大を目指す。	豊栄・白根・西川図書館の支援センターに加え、平成23年度は中央図書館に設置し、全市的な支援体制をとる。	○
	○支援センターのない東・中央・江南・西区は中央図書館、秋葉区は新津図書館で、学校図書館司書交流研修会・情報交換会を実施するなどの支援を行う。	計画のとおり、学校図書館司書交流研修会を7月12日に実施した。(中央・新津)	○

④読書活動に障がいがある子どもへの支援

課・機関名	内 容	結 果	
図書館	○点字図書や布絵本・ユニバーサル絵本等の収集と活用を図るとともに、特別支援学校からの読み聞かせ派遣依頼に対応する。	資料の収集と活用について実施できず。派遣依頼には内容のとおり対応した。(中央)	△
	○布の本や拡大写本等を紹介する「世界のバリアフリー絵本展inほんぽーと」を12月に開催する。	12月11日(土)～1月4日(火)に開催した。(中央)	○
	○日本語による読書が困難な子どもに対し、関係資料について適切な資料を収集し、情報を提供する。	実施せず。	×

⑤地域との連携

課・機関名	内 容	結 果	
教育総務課	○学校図書館の地域開放について、昨年度から継続して取り組んでいる学校や、学校図書館支援センターを設置している区の小学校に実施を働きかける。	34小学校と1中学校の計35校で学校図書館の地域開放を実施し、延べ5,615人が利用した。	○
地域と学校ふれあい推進課	○学校図書館ボランティアのニーズを把握する。	地域と学校パートナーシップ事業実施校(105校)にアンケート調査を行って、ニーズを把握した。	○
	○学校図書館ボランティアの発掘及び人材リストの作成を行う。	ニーズのある学校は、人材リストをすでに作成、あるいは作成中である。	○
	○実情に応じて、要請があったボランティアのコーディネートを行う。	内容のとおり実施した。	○
	○学校図書館の地域開放への支援のあり方や方法を検討する。	地域開放の実施状況について把握し、当課としての支援のあり方について検討した。	○
図書館	○学校が行う読み聞かせ講座の講師を派遣・紹介し、資料を提供する。	講師派遣は全館で1回実施した。(2月末・学校図書館支援センター対応分は除く)	○

⑥学校図書館関係課の連携

課・機関名	内 容	結 果	
図書館	○学校図書館関係課・機関連絡会議を実施(3回開催)する。学校図書館に関連する課・機関の取組についての情報を交換し、連携を深め、学校図書館の活性化に組織的に取り組む。	第1回8月2日、第2回12月15日、第3回3月17日に会議を開催した。	○

4 地域

(1) 図書館

①施設・設備・蔵書の充実

課・機関名	内 容	結 果	
図書館	○平成23年度開館予定の巻図書館の児童コーナーを整備する。	平成23年9月開館にむけ、来年度も資料購入・工事を引き続き実施する。家具の選定・発注は終了した。	△
	○中央図書館展示コーナーで児童図書研究室の資料を展示するとともに、研究室の案内を作成し、関係機関に配布する。また、関連事業の場で、児童図書研究室を紹介し、随時案内も行う。	2月3日～3月1日まで小展示コーナーで児童図書研究室の資料を紹介した。(中央)	○
	○外国の子どもが日本の暮らしを理解できるような絵本や外国語絵本の収集と情報を提供する。	外国語絵本33冊を収集した。(中央・生ゼ)	○

②子どもと本を結ぶ事業の開催

課・機関名	内 容	結 果	
図書館	○書店やボランティアグループ等と子どもの読書活動を進めるための共催事業を実施する。	4回実施した。参加者180人。(中央)	○
	○「おはなしのじかん」等の子どもが参加できる行事を実施する。	定例会を667回実施した。参加者8,978人(全館)	○
	○新潟市出身の絵本作家、黒井健氏を中央図書館の「こどもとしゃかん名誉館長」として委嘱すると共に、こどもとしゃかんのシンボルマーク作成を依頼し、より多くの利用者に愛着を持ってもらい、図書館利用の拡充を図る。	9月4日こどもとしゃかん名誉館長就任式を開催した。こどもとしゃかんシンボルマーク「るーぼん」を作成した。(中央)	○
	○保育つき事業の「おひぎにだっこの絵本講座」「父親のための絵本講座」を開催する。	「父親のための絵本講座」を6月20日実施した。10人参加。「パパ&ママのための絵本講座(おひぎにだっこの絵本講座より名称変更)」12月18日に実施した。28人参加。(中央)	○

③ティーンズ世代へ

課・機関名	内 容	結 果	
図書館	○中学・高校に対する団体貸出、職場体験の受入、レファレンスの支援を行う。	内容のとおり実施した。(全館)	○
	○ティーンズ向けブックリストを作成し、学校・図書館で配布する。	「りーふ」vol.6, vol.7 各1500部を作成した。(中央)「本のつばさ」8000部を作成した。(西川)	○
	○中高生による図書館通信を発行する。	「ティーンズ通信」を年4回発行した。(豊栄)	○
	○夏休み事業の実施や中高生の図書館ボランティアを募集する。	8月2・3日に夏休み事業(ほんぼーとティーンズ向け1日図書館員)を実施した。中高生の図書館ボランティア募集は未実施。(中央)	△
		※10月17日、3月13日に中高生向け読書会を実施した。(中央)	追加

④学校や保育園などへの支援

課・機関名	内 容	結 果	
図書館	○学校貸出図書搬送事業を開始し、学校の教育活動に必要な市立図書館の蔵書資料の活用を進める。(再掲)	平成22年5月6日より実施した。搬送利用は5月～1月で18,724冊(団体貸出返却冊数46,608冊の40.2%)(全館)	○
	○学校や園・子育て支援センター等が来館した際に、要請に応じて読み聞かせなどを行う。	全館で32回実施した。	○
	○中央図書館では、図書館おすすめのブックリストに掲載してある本のセット貸出を小・中学校や園に対して行う。	7セットを貸し出した。(中央)	○
	○放課後児童クラブ等へリサイクル図書を提供する。	13回実施した。(18館中12館)	○
	○園や子育て支援センターで開催する絵本の講座への講師派遣や、読み聞かせボランティアの紹介等の支援を行う。(再掲)	講師派遣は全館で104回実施した。	○
	○関係課と連携したボランティアコーディネートを検討する。	実施せず。	×
	○図書館見学や職場体験に対応する。	全館で72回実施した。	○
	○図書館が推薦する絵本のブックリスト、小学生向け・中学生向けのブックリストや子どもと読書に関する啓発リーフレットなどを配布する。	ブックリスト10種(ティーンズ向け除く)、リーフレット1種を配布した。(全館)	○

⑤ボランティアとの連携・支援

課・機関名	内 容	結 果	
図書館	○読み聞かせボランティアのステップアップ講座や交流会を開催する。	ステップアップ講座を1回、交流会を1回実施した。(中央)	○
	○読み聞かせ等ボランティアの自主研修会を支援する。	自主研修会を3回支援した。(中央)	○
	○市内のボランティア団体を把握し、連携が取れるよう支援する。	図書館の登録ボランティアは38グループ 延べ425人である。	○

(2) 公民館・地域子育て支援センター等

①公民館事業等の充実

課・機関名	内 容	結 果
文化政策課	○新津美術館で「堀内誠一 旅と絵本とデザインと」展を2011年3月5日(土)～4月10日(日)に開催し、絵本作家関係者による講演会やワークショップを開催する予定。	内容のとおり実施した。 ○
障がい福祉課	○市立ひしのみ園(知的障害児通園施設)での日中活動において、読み聞かせを実施する。	内容のとおり実施した。 ○
国際課	○国際課に集積された外国語の絵本等を図書館に寄贈し、活用していただく。また、それらの絵本を利用して国際交流員による読み聞かせの実施と、その国の遊びについての紹介を行う。	絵本の寄贈はしていないが、7月28日・29日の「国際交流はじめの一步」で外国語絵本の読み聞かせとその国の遊びを実施した。 △
各区健康福祉課	○児童センター、子育て応援ひろば等で読み聞かせを実施する際、同伴の保護者にも読み聞かせの大切さを伝える。(各施設月1, 2回実施)(再掲)	内容のとおり実施した。 ○
公民館	○親同士の交流や情報交換の場である「子育てサロン事業」等で、ボランティアによる絵本の読み聞かせの時間を設ける。	内容のとおり実施した。(石山・中央) ○
	○ボランティア団体の協力による「おはなしのせかいへ」等、絵本の読み聞かせ事業を実施する。	内容のとおり実施した。(亀田・曾野木・小須戸・味方) ○

②蔵書の充実や事業への支援

課・機関	内 容	結 果
こども未来課	○放課後児童クラブでの図書館のリサイクル図書の受入れ調整、ボランティアによる読み聞かせ等の働きかけを行う。	放課後児童クラブの指導員を対象に図書を用いた活動についての研修を実施した。 ○
	○放課後児童クラブ・私立幼稚園のボランティアニーズの把握を行う。	実施せず。 ×
保健所健康衛生課	○乳幼児健診等の会場において、図書館のリサイクル図書の活用を図る。	実施せず。(各区内で連携を図っていただくことが望ましい。) ×
地域と学校ふれあい推進課	○中央図書館が行う読み聞かせステップアップ講座について、ふれあいスクール運営主任研修会の場などで紹介をする。	7月24日のふれあいスクール運営主任研修で紹介した。 ○
保育課	○すべての子どもたちに対し、乳幼児期から本に慣れ親しむ機会を提供するため、市内の全保育園・幼稚園・地域子育て支援センターに絵本を配付する。また、施設での活用はもとより、地域の保護者に広く貸出を行うため、絵本の貸出・検索システムを構築する。(再掲)	各園等に絵本を配布し、来年度にシステムの稼働を予定している。(参加施設数:保育園179園(全210園中)、幼稚園36園(全55園中)、地域子育て支援センター34施設(全38施設中)) ○

③ボランティアの活動

課・機関	内 容	結 果
公民館	○「子育てサロン事業」等において他団体との連絡調整等ボランティア活動を支援する。ボランティア団体と企画会議を開催し、協働事業を実施する。	内容のとおり実施した。(中央・西) ○

◇広報・啓発

①子どもの読書活動についての啓発

課・機関	内 容	結 果	
図書館	○図書館が推薦する絵本のブックリスト, 小学生向け・中学生向けのブックリストや子どもと読書に関する啓発リーフレットなどを配布する。(再掲)。	ブックリスト10種(ティーンズ向け除く), リーフレット1種を配布した。(全館)	○
	○図書館のホームページに「新潟市子ども読書活動推進計画」に関するコーナーを設ける。	9月から図書館のホームページに“平成22年度「新潟市子ども読書活動推進計画」に基づく各課の取組”を掲載している。	○
	○「新潟市子ども読書活動推進計画」の概要版を市内の各施設で配布する。	小・中学校, 幼稚・保育園, 小児科医を含む約580カ所へ送付した。	○
	○ブックスタート各区実行委員会や各区の健康福祉課等が行う絵本やわらべうた講座などの場を通して「新潟市子ども読書活動推進計画」を周知する。	概要版を配布予定外のブックスタートボランティア養成講座参加者へも配布した。	○
	○書店やボランティアグループ等と子どもの読書活動を進めるための共催事業を実施する。(再掲)	4回実施した。参加者180人。(中央)	○

②文学創作活動の啓発

課・機関	内 容	結 果	
文化政策課	○「にいがた市民文学」で18歳以下を対象とした「青春の部」を創設し, 過去に応募があった小中高校の担任教師へ応募を働きかけるとともに, 「青春の部」創設を市内小中高校に周知及び応募依頼を行い, 新規応募を促す。	「青春の部」には167作品(個人)と5団体(1小学校・4中学校)から応募があり, 11月23日に開催した「にいがた文学の集い」で入賞者を表彰した。	○

◇推進体制

①計画の推進組織の設置

課・機関	内 容	結 果	
図書館	○新潟市子ども読書活動推進計画庁内推進会議を実施(2回開催)する。各関係課・機関の取組についての情報を交換し, 計画の着実な推進を目指す。	第1回6月10日, 第2回3月17日に会議を開催した。	○
	○学校図書館関係課・機関連絡会議を実施(3回開催)する。学校図書館に関連する課・機関の取組についての情報を交換し, 連携を深め, 学校図書館の活性化に組織的に取り組む。(再掲)	第1回8月2日, 第2回12月15日, 第3回3月17日に会議を開催した。	○